

できることから
はじめよう！
環境にいいこと
ひとつずつ



城陽エコパートナー通信

Vol.76

発行日：令和5年(2023年)1月12日
会員数：306人(令和4年12月31日現在)

編集・発行：城陽環境パートナーシップ会議
(事務局) Tel(56)4061 Fax(66)6828

新年あけましておめでとうございます！

ウクライナ紛争を契機にエネルギー、食糧危機等に見舞われた昨年でした。また、ここにきてコロナ禍の第八波の拡大が懸念されており、今年こそは穏やかな日常が戻ってほしいと願う新年となりました。

地球は様々な生物が棲む多様性豊かな、かけがえない星です。しかしながら近年、この地球は温暖化による異常気象や希少生物絶滅の危機に見舞われています。この温暖化は人間の活動による二酸化炭素排出増大の影響であることに疑う余地はないとされています。世界には多様な考え方や暮らし方がありますが温暖化防止に関しては世界中の国々がひとつになって取り組んでおり、城陽市もゼロカーボンシティを目指し動き出しております。このような中、3年ぶりに通常開催をした「市制50周年記念 第21回城陽市環境フォーラム」には大勢の参加があり、市民の環境問題への関心の高さを実感しました。



パネルディスカッションでは高校生、大学生、市民、運営委員のほぼ三世代に参加いただき、未来の環境を共に考える貴重な機会となりました。環境活動の啓発冊子「デイリーエコチョイス JOYO」を協働制作してくれた大学生からは「エコは当たり前、日常なことだと感じるようになった」との言葉がありました。私たちの社会には将来を担う世代がしっかりと育っています。

昨年の活動を振り返り、私たち城陽環境パートナーシップ会議の果たしている役割の重さと深い意義を改めて強く感じました。今後ともみなさまのご支援をお願い申し上げます。

令和5年 元旦

会長 大野和宣

デイリーエコチョイスJOYOが完成しました！

文：芦原副会長



デイリーエコチョイスJOYOの作製は、大学生と市と城陽環境パートナーシップ会議とのコラボ事業でした。龍谷大学環境ソリューションコースの3回生に事業内容の説明と、ぜひ一緒にやりましょう!とプレゼンをしました。これで手を上げる学生がいれば、学生との協働する大きなチャンスと後押しされ、担当する自分としては、久々のプレッシャーではありましたが、4名の学生が参加してくれると聞いたときは、心の底から安堵しました。

最初の顔合わせは、世代の違いを少し感じましたが「ゼロカーボンに向けて私たちができること」という共通の目的があるためか、即、学生とコラボに向けて意思が一致し、とんとんとゴールまで進みました。

城陽市環境フォーラムで、パネリストとして参加する学生、デイリーエコチョイスJOYOの成果発表をする学生の成長・活躍を見て、単年度で終わらせるのは勿体ないな…と実感しました。

一緒に協働してくれた龍大の学生のみなさん、協働について前向きにご検討いただいた教授のみなさん、本当にありがとうございました。

小学生と中学生編 内容は、6問の選択問題



ポイント制で、子どもでも楽しく取り組むことができます。

高校生と大学生編 内容は、6問の選択問題



学生生活の中で、エコを意識し自ら選択して実行できる内容です。

家庭と職場編 内容は、10問の選択問題



家庭でも職場でも「選択」して実践できることを掲載しています。

市制施行 50 周年記念事業
第 21 回城陽市環境フォー
ラムを開催しました！
午前の部

文：小林委員



カーボンニュートラル絵画展



カーボンニュートラル絵画展受賞者



グリーンカーテンフォトコンテスト受賞者

午後の部

文：奥田委員



講師：同志社大学名誉教授 新川達郎氏

コロナ禍を乗り越え、城陽市市制50周年記念事業として第21回城陽市環境フォーラムをホームグラウンドである文化パーク城陽の市民プラザで3年ぶりの開催となりました。

今回のメインテーマは、昨年11月にリモート開催された第20回城陽市環境フォーラムでの奥田市長による2050年へ向けて「ゼロカーボンシティ城陽」宣言を受け「カーボンニュートラルに向けて」とし、大野会長以下関係者の気合の入った開催となりました。コロナ禍がまだ続くなか、参加の呼びかけも出来ない不安な状態での開催ではありましたが、午前・午後のイベントを通して何と350名も参加くださり、コロナ禍を払拭するものとなりました。

カーボンニュートラル絵画展表彰 夏休み中に、市内の小・中学生が応募してくれた「カーボンニュートラル絵画展」表彰では、中学1年生の作品、テーマ「すべては未来のために」(右絵)が緑の木を描き、本来見えない根っこに、ダム・風車・節水・植樹…を表現している絵に私は感動を覚えました。



特賞 中学1年：谷 優月さん

第6回グリーンカーテンフォトコンテスト表彰 温暖化が進みゴーヤをはじめとする植物によるグリーンカーテン自体の水やりが大変なかで、今回9点もの応募があったことに感謝します。受賞作品は見事なものでした。



最優秀賞 撮影者：横田勝利氏

小・中・高・大学生並びに成人およびPS会議の高齢者が揃って参加した今回のフォーラムの開催は、何かと暗いイメージがある環境対策に、3世代に繋がる、未来への明るい兆しが見え始めました。奥田市長も、午前・午後、終始会場に居られ、受賞者や市民への励ましが良かったです。

講演会 奥田市長、大野会長の挨拶の後、講師の同志社大学名誉教授の新川達郎氏の講演がはじまりました。地域からの進め方をテーマとされながらも『気候問題は、人間の活動が大気・海洋・陸域を温暖化させてきた事に疑う余地がない。城陽市の環境基本条例の制定、環境基本計画の策定、地球温暖化対策実行計画の策定、市長の「ゼロカーボンシティ宣言」など市民・行政ともに多くの努力がなされてきた。温室効果ガス排出量をさらに減らすためには、電気エネルギー・化石燃料の節約、再生可能エネルギーへの転換、省資源、循環型社会に向けての取組みをおこない、気候危機に対して市民一人一人の意識の向上と行動が大切である。「カーボンニュートラル」を達成するために、大気中に排出される二酸化炭素に対して木や自然環境が吸収できる量にとどめる事が大切である。』と強調されました。

パネルディスカッション コーディネータは新川氏が、パネリストは城陽高校2年生の千馬さん、龍谷大学生3回生の檜垣さん、竹林さん、京都府地球温暖化防止活動推進委員の古家野氏、城陽環境パートナーシッ



パネルディスカッション



城陽高校2年生の千馬さん



龍谷大学生による
デイリーエコチョイスJOYOの完成報告

プ会議運営委員の私を含め世代の違う計5名がパネリストとして登壇し、未来の環境を考え私たちができることを話されました。千馬さんは、環境に関して心を動かす絵を描きたい、檜垣さんは、環境問題に取り組む企業に就職したい、竹林さんは、祖父の環境への投資に感心、古家野氏は、植樹を積極的にやりたい、私は、市民の皆さんへの啓発活動の継続と話しました。

デイリーエコチョイスJOYOの完成報告 龍谷大学環境サイエンスコースの学生と城陽環境パートナーシップ会議と市が協働し「カーボンニュートラルに向けて私たちができることは何か」を考え、実行するアイテムとして「デイリーエコチョイスJOYO」という啓発冊子を作製しました。学生達は初めての経験での半年の苦労話も披露されつつ、貴重な経験ができたこと、またこの冊子を見て一人でもいいので、環境をよくするための行動を選択することを願いますと完成報告をおこないました。



デイリーエコチョイスJOYOに携った龍大生のみなさん
左から、大野会長、竹林さん、檜垣さん、奥田市長、新川氏、五十嵐さん、杉本さん、芦原副会長

どんぐりやまプロジェクト
自然学習会
「どんぐりの勉強会」を
開催しました！
文：井手委員



ポットに「どんぐり」をまく園児

これからの環境を担う「人」を育むことを目的とし、こどもたちが環境学習・教育に触れることにより、環境への意識を変えるきっかけとなることを図るため、また自然とふれあう場を創出することで美しい自然を後世へと引き継ぐことを目的に、11月8日(火)9時25分から11時50分、府立木津川運動公園(城陽五里五里の丘)にて、鴻の巣保育園園児24名、保育士5名に「どんぐりの勉強会」に参加いただきました。

園児が、公園でどんぐりを拾い、拾ったどんぐりを森守クラブ城陽さんのご指導のもと、ポットに植えました。そのあとは、PS会議運営委員の山村元秀委員を講師に「どんぐり図鑑」の作製とどんぐりの勉強会をおこないました。

ポットに植えたどんぐりを園に持ち帰り、園児が一生懸命育てて次年度、公園内に植樹をする予定です。

最後に、約10年前に森守クラブ城陽さんと城陽の4つ小学校と一緒に植樹したどんぐりの木は、実をつけるまでに成長していました。今回の苗木も大きく成長することを願います。



「どんぐり」の学習会



「どんぐり図鑑」の作製



約10年前の植樹プレート

イベント INFORMATION

自然観察会を開催します！

- ◇開催日：令和5年2月4日(土)
- ◇集合場所・時間：北部コミセン(国道沿い駐車場) 9時集合 | 2時解散
- ◇観察場所：古川流域
- ◇内容：古川流域での野鳥観察会と美化活動
※雨天中止(判断しかねるときは、当日8時30分～8時45分に問合せ)
- ◇対象：市内在住、在学、在勤の人(小学生以下は保護者同伴)
- ◇参加費：無料
- ◇講師：田中義則氏(環境生物研究会)
- ◇持ち物：水筒・タオル・帽子
※当日はマスクを着用し、動きやすい服装で防寒対策をした上でご参加ください
- ◇申・問：城陽環境パートナーシップ会議へ直接か電話(56-4061)
※1月16日(月)より受付開始



手軽にできる冬の省エネ対策 ～室内の熱を逃がさない～

その1:窓から熱が逃げるのを防ぐ

家の中で一番熱が逃げる場所が窓です。断熱シートや隙間防止シートの活用、カーテンを厚手のものにするなどして、暖かい空気を逃がさないようにしましょう。

その2:扇風機やサーキュレーターを天井に向けて動かす

暖かい空気は上に行くため、扇風機やサーキュレーターを天井に向けて動かそう。部屋の空気を回すことで部屋が暖かくなります。

その3:冷蔵庫の設定温度を上げる。

冷蔵庫のある部屋の室温が真夏より低ければ、冷蔵庫の設定温度を1段階上げよう。

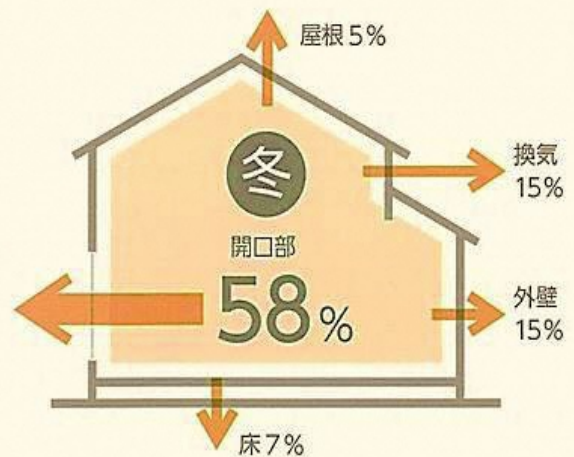
その4:こたつを使用し、エアコンの設定温度を下げる

断熱シートの上にこたつ用の敷物を敷くと「弱」や「中」の設定でも十分に暖かく、エアコンの設定温度も下げられます。

その5:衣服で調節しよう

暖房に頼らず、フリース、ウール、機能性下着、防寒肌着など衣服で調節し、温かく過ごしましょう。

熱の流出割合(冬の暖房時)



出典:(一社)日本建材・住宅設備産業協会「省エネルギー建材普及促進センター」省エネ建材で、快適な家、健康な家より

その6:「3つの首」をしっかりガード

体を効率的に温めるには、首・手首・足首をしっかり保温することがポイントです。

日本観光ゴルフ株式会社
城陽カントリー倶楽部
〒610-0121 京都府城陽市寺田奥山1-46

株式会社 玉井 開発
〒610-0031 京都府宇治市広野町西裏30番地1
TEL 0774-44-3351(代) FAX 0774-41-7007

株式会社 ミズホ
砥石で、未来を磨いてゆく
〒610-0121 京都府城陽市寺田袋尻82番地

東城陽ゴルフ倶楽部
〒610-0113 京都府城陽市寺田奥山1-48
TEL 0774-52-1161

次の団体・個人から賛助会費をいただきました。誠にありがとうございました。

近畿砂利協同組合、京都城陽ロータリークラブ、サントリープロダクツ(株)宇治川工場、(株)城南工建、城陽市、城陽商工会議所、城陽金融会、星和電機(株)、(株)玉井開発、日本観光ゴルフ(株)城陽カントリー倶楽部、東城陽ゴルフ倶楽部、(株)平和堂アル・プラザ城陽、(株)ミズホ、森澤博光 ※令和4年12月末現在(五十音順・敬称略)